

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		スペースについては、国の定める基準では児童一人当たり2.47㎡となっており、基準以上のスペースが確保されており。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		国の基準では、1つの事業所に児童発達支援管理責任者・管理者を1名以上配置し、職員数は児童10名までに2人、それ以上の児童が利用する際には児童5名につき職員を1人ずつ増員するよう定められており、基準配置以上の職員がおります。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		生活空間は、児童にわかりやすく構造化され、児童の動線を妨げないよう適切な配慮をしております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		衛生環境に配慮し、毎日児童の退所後に机、椅子、道具等も消毒し、清掃を徹底しております。日々意見を出し合い、配置換えをおこない、また危険がないか確認しながら安全にも配慮しております。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		事業所内の個室数は1室となっております。個室が使用できない時には、机の配置に留意し、落ち着いて療育できる場所を提供できるように配慮しております。	安全を考慮しながら、パーティションの使用も検討してまいります。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1	定期的にリフレクション会議やミーティングをおこない、日々の業務改善や療育内容の見直しをしております。	今後もミーティングや引き継ぎにて情報共有を徹底し、職員全体がPDCAサイクルに主体的に参画できる体制づくりに努めてまいります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		年に一度は保護者様にアンケートを依頼し、ご意見を職員間で検討し、リフレクション会議などで課題や改善策を話し合っております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		毎月リフレクション会議をおこない、職員間で情報を共有し、意見を出し合い、業務改善をおこなっております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		定期的に事業所内研修をおこない、専門知識の習得や資質向上に努めております。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		公式Webサイトに公表しております。	支援プログラムは公式Webサイトに公表しております。今後も内容の見直しと更新をおこない、分かりやすい情報発信に努めてまいります。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		面談にてアセスメントをおこない、保護者様からのニーズや課題に対応できるように支援計画を作成しております。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1	面談にてアセスメントをおこない、保護者様からのニーズや課題に対応できるように支援計画を作成しております。全職員で検討する時間を設け、共通理解を図っております。	今後もミーティングや引き継ぎにて情報共有を徹底し、職員間の共通理解のもと連携を図り、より質の高い支援に努めてまいります。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		個別支援計画については職員間で共通認識を図り、周知徹底したうえで、支援に取り組んでおります。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		統一されたアセスメントシートを使用し、内容を元に支援計画の作成へと繋げております。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		地域支援・地域連携に関する設定について現在計画中です。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		活動プログラムの立案は、職員全員で意見を出し合うことで課題に沿った活動を立案しております。利用児童の特性・現状と記録を参考に、その都度組み立て、共有しております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	療育内容の見直しや話し合いを随時おこない、固定化しないようプログラムの工夫に努めております。	利用時の記録を確認しながら、療育内容を検討し、意図的に療育に取り組めるよう工夫してまいります。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		児童の発達に合わせて個別活動、集団活動を適宜組み合わせ、個別支援計画を作成しております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	支援開始前には可能な限り打ち合わせをおこない、打ち合わせが難しい場合にはノートへの詳細な記載や口頭での申し送りを徹底し、情報共有に努めております。	今後もミーティングや引き継ぎにて情報共有を徹底し、職員間の共通理解のもと連携を図り、支援の質の向上に努めてまいります。
	21	支援終了後は、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	支援終了後は可能な限り振り返りの時間を設け、打ち合わせが難しい場合にはノートへの詳細な記載や口頭での申し送りを徹底し、気付きの共有に努めております。	今後もミーティングや引き継ぎにて情報共有を徹底し、職員間の共通理解のもと連携を図り、継続的な支援の改善に努めてまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		支援をおこなった職員が必ず経過記録を取り、できている所やできていない所などを見直し、支援の検証・改善に繋げております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		定期的にモニタリングをおこない、面談にて保護者様からお話が伺いしたご意向を踏まえ、計画の見直しを判断しております。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		ガイドラインを遵守し、児童一人ひとりの状況や保護者様のご意向に応じながら、「4つの基本活動」を適切に組み合わせ支援をおこなっております。	
	25	子どもが自己選択ができるような支援の工夫がされている等、自己決定を促す力を育てるための支援を行っているか。	6		プログラムを複数用意し、児童自身が選ぶことができる場面を設定することで、自己決定する力を育む支援に努めております。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		児童発達支援管理責任者や対象となる児童の状況を把握している職員が参画しております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		各関係機関と連絡を取り、連携を図っております。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		送迎時に担任との申し送りをしており、学校の様子や行事等の情報も共有しております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		就学前の担当者会議などを通して情報提供・共有を図り、支援の方向性が統一されるように努めております。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		現在までに移行した児童はおりません。	今後移行する児童への対応として、保護者様のお承を得たうえで支援内容等の情報提供をおこなってまいります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6		事業所のある地域には児童発達支援センターがないため、そのような機会がありません。	児童発達支援センターが開設されましたら、連携を図っていきたいと思っております。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	6		今年度は交流機会はありませんでした。	行政や各施設と相談しながら、交流や地域のお祭りへの参加などを検討してまいります。
	33	（自立支援）協議会等積極的に参加しているか。	6		自立支援協議会へ積極的に参加しております。	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎時などに保護者様にその日の様子を必ず伝え、共通理解を持てるようにしています。また保護者様と積極的な意見交換をおこない、より良い支援へ繋げております。	
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加ができる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	できる範囲の支援に努め、送迎時や連絡帳のやりとりを通して、ご質問などへの助言をおこなっております。保護者様からお悩みやご相談があった場合には、丁寧なアドバイスに努めております。	事業所への理解を深めていただけるよう、見学や懇談の機会の設定について保護者様のご意向に配慮しながら検討し、家族支援の充実に努めてまいります。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時には丁寧な説明をするように努めております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもと保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		児童の様子を振り返りながらモニタリングを作成しております。保護者様の意向を踏まえたアセスメントを実施し支援計画を作成し、意向の確認をおこなっております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		支援計画を作成した際には、保護者様に内容について説明をおこない、同意をいただいております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		送迎時や連絡帳のやりとり、家庭連携を通して保護者様からの悩みや心配ごとについてうかがい、気持ちに寄り添った助言やアドバイスができるよう心掛けております。	
	40	父母の会の活動や支援する機会や、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		今年度は保護者会の機会はありませんでした。	保護者様のご意見やご要望を伺いながら、保護者会や交流の機会の開催について検討し、保護者同士のつながりを支援できるよう努めてまいります。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		現時点までに重大な苦情をいただいたことはありませんでしたが、苦情窓口と責任者を配置し、玄関には、ご意見箱を設置しております。ご意見をいただいた場合は速やかに対応させていただきますよう努めてまいります。	
	42	定期的に連絡等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		季節ごとにお便りを発行し、行事予定や制作活動の様子、お知らせなどを発信しております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報の取り扱いには慎重におこない、書類は施錠できる場所に保管してあります。また、利用児童の写真掲載は書面にて保護者様の同意を得たうえで、掲載しております。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		児童には特性に合わせた伝達方法を選択し、保護者様には専門用語は避け、分かりやすい言葉でお伝えするよう掛けております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6		今年度は地域住民をご招待するような企画はできませんでした。	個人情報保護および保護者様のご意向に十分配慮しながら、地域との交流機会の創出について具体的に検討し、地域に開かれた事業運営に努めてまいります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		各種マニュアルを策定し、事業所内で見やすい場所に掲示するとともに、年間計画に基づき訓練を実施し、職員および保護者への周知に努めております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		業務継続計画（BCP）を策定し、地震・火災・風水害を想定した避難訓練を定期的実施しております。訓練の様子は送迎時や連絡帳、おたよりを通して周知しております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		事前に服薬や発作等の情報について聞き取りをおこない、退院前後の状況についても確認しております。全職員がマニュアルに沿った対応を共有し、緊急時に適切な対応ができるよう努めております。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		アレルギーについては面談時に詳細な情報を確認し、全職員で情報共有をおこない共通理解のもと対応しております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画を作成し、事業所内の安全確保について定期的に研修や訓練を実施しております。マニュアルや計画書は事業所入口に掲示し、周知に努めております。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携等図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		安全計画に基づく取組内容について、研修や訓練の実施状況を毎月のおたよりでお知らせし、家族等との連携に努めております。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	6		ヒヤリハット報告書を作成し、職員間で共有および検討をおこない、再発防止に努めております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		虐待防止責任者を配置し、事業所内研修や外部研修を通して知識の向上を図り、全職員への周知徹底に努めております。	
54	子どもの場合にもやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に行うか説明し、承諾を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載し対応しているか。	6		原則として身体拘束はおこないませんが、生命または身体の保護のためにやむを得ず必要となる場合には、組織的に判断したうえで、児童および保護者様に事前に十分な説明をおこない、承諾を得たうえで放課後等デイサービス計画に記載し対応しております。また、職員研修を通して適切な対応の徹底に努めてまいります。		

〇この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体でおこなった自己評価です。